

書字文化

6月号

第3回書文協臨書展報告

- 主催 一般社団法人日本書字文化協会
後援 青梅市(東京)日本中国友好協会
中国書法学院 中国国立南京芸術学院日本校 一般社団法人国際芸術家連盟
蘇州・寒山寺 蘇州吳昌碩研究会
- 応募資格 全部門とも年齢不問 毛筆のみ 平成30年3月23日締め切り
部門 臨書 用紙は半切ないし八つ切り
- ・自由課題の部(高校教科書臨書教材から)
 - ・常設課題の部(漢詩・楓橋夜泊)の1句以上
- 楷書書写 どの部か自由に選ぶ。用紙は半紙ないし八つ切り
- ・1字の部: 月 満 天 漁 火 城 外 の中から1文字
 - ・2字の部: 漁火 ・3字の部: 寒山寺
- 常設課題 漢詩「楓橋(ふうきょう)夜泊(やはく)」は唐代の詩人・張継(ちょうけい)の作。寒山寺碑文の書家は清末の愈越(ゆえつ)。この碑文を模した碑が日本寒山寺にも置かれている。

「楓橋夜泊」は1行7文字の七言絶句(シチゴンゼック)。絶句は中国詩の詩体の一つ。起句、承句、転句、結句の4句で完成する。



日本寒山寺



楓橋夜泊拓本

月	落	烏	啼	霜	満	天	(つきおち からすなきて しもてんにみつ)
江	楓	漁	火	對	愁	眠	(こうふう ぎょか しゅうみんにたいす)
姑	蘇	城	外	寒	山	寺	(こそじょうがいの かんざんじ)
夜	半	鐘	声	到	客	船	(やはんのしょうせい かくせん にいたる)

連絡先

書文協書写書道専修学院青梅教室 〒198-0036 青梅市河辺町10-10-3
サンライズイトウ301 TEL・FAX 0428-21-6896 (留守の時は中野区の書文協本部に転送)
書文協ホームページ <http://www.syobunkyo.org> (問い合わせホームあり)

筆と墨の世界¹の基本として



日本書字文化協会代表理事・会長 大平恵理

書文協の臨書展も第3回が開催され、その中から選ばれた優秀作品の展示会を新緑濃い多摩川上流、澤乃井ガーデンのギャラリーで開催できましたことは、まことに喜ばしい限りでございます。応募いただいた方々はもちろん、審査に当たられた先生、日中の後援団体など全ての関係者に感謝申し上げます。

古典を写す臨書は、書の学びの基本としてとても大事です。高校に行きますと、書道教科に臨書の単元があり、書を学ぶ人は誰もがここを通ります。小中学校国語科の書写と書道をつなぐ「同根、同心円」の墨と筆による世界とその魂を、古くまでさかのぼり体感するわけです。

書文協では小中学生でも臨書に親しめる工夫として、楷書書写の部を設けています。臨書の自由課題の部、常設課題（漢詩・楓橋夜泊）の部と別に、楓橋夜泊に出てくる日本の教育漢字10文字を楷書で揮毫し、これを課題の見本手本としています。楓橋夜泊は全文28文字が全て日本で現在使われているという稀有な存在なのですが、子供たちは楷書書写の部によって臨書へのアクセスに導かれます。

中国伝来の漢字から平仮名を生み出した日本人。漢字、仮名交じりの日本語を話し、文字への感性を磨くために、臨書の取り組みは有効です。皆さま、お気軽に出品してください。

書で日中の津梁に

臨書展運営委員長（書文協副会長） 渡邊啓子



東京の奥座敷、多摩川上流にある鶺鴒の瀬溪谷（東京都青梅市沢井）には中国蘇州の名利・寒山寺を招魂して建てられた日本寒山寺があります。「夜半の鐘声、客船に至る」（漢詩・楓橋夜泊）と詠まれた寒山寺を模した鐘つき堂から、豊かな鐘の音が川面に響きます。そこは、静かな歴史を刻んだ日中友好の場所なのです。書文協臨書展は「書で両国をつなぐ津梁（しんりょう）となろう」という志から始まりました。国際化の進展の中で、異文化への理解はますます重要となってまいりました。いわんや日中は古くから漢字で結ばれた同文の国です。書文協が津梁（しんりょう、渡し場と橋から、導くこと）の一端を担えればと思います。

「書は人なり」「書は体を現す」。その人から滲み出てきたものが感動や共鳴するものを産み出していきます。それは、優しさ、豊かさ、たくましさ等…心ある愛のかたまりみたいなものでしょうか。異文化理解の基本には、愛がなければいけないと思います。漢詩臨書には、漢詩の心とともに、書く人の心がにじみ出てくると思います。専門語で言われるところの「意臨」です。型の隣には、いつも「心」を備えて、白い紙に臨みたいものです。

第4回臨書展は平成30年度事業として、平成31年（1919年）3月15日（金）応募締切で開催します。開催要項は秋に発表の予定です。皆様、是非ご応募ください。

審査

総応募点数は計 735 点（前回 758 点）。審査は 4 月 5 日、東京・中野のゼロホールで開かれ、厳正な審査が行われた。審査員は以下の通り。（敬称略）

加藤東陽(祐司)＝書文協中央審査委員長、全日本書写書道教育研究会会長

加藤堆繫(泰弘)＝同委員、文部科学省教科調査官（当時）・東京学芸大学教授, 附属中校長

大平恵理＝書文協会会長

池田圭子＝書文協教学参与。

優秀作品展示会

5 月 23 日から 27 日の日曜日まで 5 日間、優秀作品展示会が青梅市沢井の澤乃井ガーデンギャラリーで開かれました。会場には、大賞を授与した甲府市座右中の杉本龍峰氏の作品など優秀作品 19 点が展示されました。また、地元の書文協青梅教室生の作品も掲示されました。

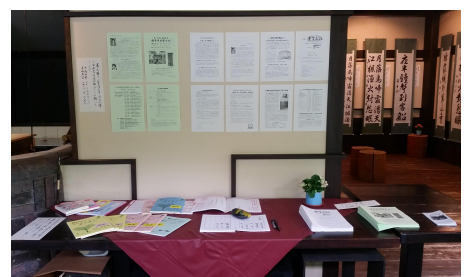
写真は展示会に駆け付けた杉本氏と受賞作品など。展示会場では書の愛好者らが熱心に作品を鑑賞しました。杉本氏には「東・西・南・北」（当機関紙）も寄稿いただきました。



大賞受賞の杉本氏 受賞作品の前で



会場風景



第3回臨書展特別賞受賞者(学年は29年度現在)

賞 名	受賞者	学校名学年(在住地)
大 賞	杉本 龍峰	一般(山梨県)
中 央 審 査 委 員 会 賞	竹内 茉永	東京都立昭和高1年
日本書字文化協会会長賞	飯田 桃子	福岡県福津市立津屋崎小6年
青梅市日中友好協会会長賞	新子 由希子	一般(大阪府)
以 下 、 優 秀 賞	横田 海斗	東京都・大田区立千鳥小2年
	山口 凌空	大阪府・吹田市立岸部第二小2年
	関口 美夢	東京都・青梅市立第二小3年
	安齋 里莉花	東京都・光塩女子学院3年
	中野 明舞音	大阪府・吹田市立千里第一小3年
	新納 愛梨	東京都・豊島区立さくら小4年
	小松 諭世	東京都・中野区立谷戸小5年
	鈴木 苺亜	東京都・中野区立谷戸5年
	川崎 木乃葉	東京都・東海大学付属望星高3年
	大平 知雅	東京都・中野区立第七中3年
	野本 由美子	一般(東京都)
	大平 麗雅	東京都立向丘高1年
	池田 萌華	神奈川県・横浜雙葉中3年
	近藤 乃愛	秋田県五城目町立五城目第一中3年
	植田 惇平	大阪府・吹田市立片山中3年



日本寒山寺の「楓橋夜泊」詩碑



日本寒山寺のご本尊



日本寒山寺と梵鐘

東・西・南・北

杉本 龍峰

第3回臨書展大賞受賞者 甲府市在住

癒される作品作りを

この度は、「第3回 書文協 臨書展」において、栄えある「大賞」を受賞させていただき、とても大きな自信に繋がりました。心から感謝申し上げます。

実は、5年ほど前に体調を崩してしまい、ちょうど同じ頃、周囲から書道を勧められたのがきっかけで、約30年ぶりに、独学で書道を再開しました。30年もの間、書道の作品づくりから離れており、再びできるかどうかとても不安でした。

案の定、筆に墨をつけ、半紙の上を走らせると、やはり、思うように筆（腕）が動きません。しかし、墨の香を感じながら、筆を持ち、紙の上を走らせた時の気持ちがとても清々しく、我を忘れてしまうくらい本当に楽しいひと時でした。臨書を中心に、最初は「半紙」から始め、1年経過したら「半切」、そして、また1年経過したら、「全紙」というように、少しずつ幅を広げていき、現在に至っております。

体調不良で大きく挫折した5年前でしたが、大好きな書道が、私を救ってくれたと言っても過言ではありません。そして、書道を通して、人の温かな気持ち、自然の営み、自身がこの世に生かされている喜びなど…を、心から感じ取れるようになりました。そして、これらすべてが廻り回って、また書道の作品に表れるという、良い意味での循環性を感じます。将来的には、多くの皆さまが心から癒される、そんな作品づくりができたと思います。そして、この度の受賞を機に、さらに精進させていただきたいと思います。

最後になりましたが、書文協の益々のご発展と、皆さまのご多幸、ご活躍を心からお祈りしております。この度は、本当にありがとうございました。

×

×

×

＜編集部から＞杉本龍峰（博之）さん（52）は、第2回臨書展では漢詩「楓橋夜泊」の一句を書き、書文協会長賞。今回は自由課題として古典の中から空海の灌頂歴名（かんじょうれきめい）の一節を書き、古典に寄せる思いが伝わる確かな筆致が審査員に評価されました。灌頂歴名（灌頂記）とは密教の修法を執り行った際の記録。書聖・空海の灌頂歴名は風信帖とともに有名。

甲府市内の中学校で、技術家庭科の先生として、物づくりやコンピュータを教えています。パソコン操作はお手のもの。一方で、アナログそのものの書写書道に打ち込んでいます。神奈川県出身。高校時代まで師に就いて学んでいましたが、国立山梨大学進学後は筆から離れていました。体調を崩したのを機に30年ぶりに5年前から、独学で再び学び始め、人を癒（いや）す書の持つ深い精神性に惹かれるこのごろの様子。書写書道に興味のある中学生が多いことも喜んでおられます。

「りゅうちゃんブログ2」をアメブロで掲載しています。その口上に「主に書道展出品を通して書道の勉強をしています」。自分の成長の過程を記録することと、皆の参考になればと、各地展示会のあれこれを書いているとのこと。皆さん、是非お読みください。

身長185センチ、あごひげの偉丈夫。心優しい異色の中学教師書家が、書写書道普及の先兵として活躍されることを期待します。

（この機関紙の「第3回臨書展報告」優秀作品展グラビアページに、龍峰氏が展示会を訪問されたとき受賞作と共に写した写真が掲載されています）

「硬筆課題検定」の普及に本腰

新・高校学習指導要領（案）で「硬筆書写の高校延伸」明白に

文部科学省が今年2月14日に発表した新しい高校学習指導要領案（平成34年から完全実施）は、新設の国語科必須科目「現代国語」「歴史言語」で中学校書写との連携を、芸術科目の「書道Ⅰ」ではこの連携と共に硬筆学習に配慮するよう求めています。これは小中学書写（国語科）の“高校延伸”であると同時に、実用的な硬筆重視の流れと受け止められています。日本語の継承・発展を活動の目標とする書文協は、この気運に十分に応えたいと思います。

硬筆ブーム到来の気運に対応

鉛筆やペンによる硬筆は、日常的に使われる実用的な書写書道です。学校教育では硬筆書写が小学校から高校まで、一貫して重視される気運となったことに応えて、「硬筆課題検定（通称・新硬筆検定）」を今後、唯一の公式硬筆検定とし、広く普及していくことになった次第です。

検定、ライセンスは書文協の学びの中核です。これまでの硬筆楷書、同行書の検定受験コースは、すでに取り組んでいる教場では残ります。検定成績の記録保存、段・級の付与制度も継続しますが、できるだけ新検定に移行していただくため、編入試験などによる特別段級認定試験を行います。新しく検定に取り組まれる教場においては、硬筆検定は新硬筆検定のみとなります。

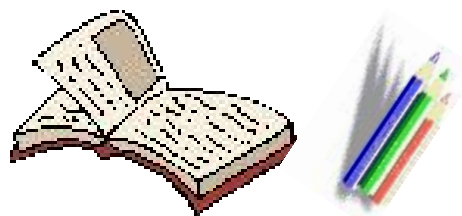
幼児・低学年児童の毛筆指導研究にも注力

東京都府中市の北山幼稚園での就学前幼児の毛筆正課授業プロジェクトも、この秋から5期目に入ります。今年から全国の小学校で、低学年児童の水書きによる毛筆（軟筆）指導の取り組みも始まります。毛筆は硬筆の基礎であり、運筆の指導のため水書きに取り組むものです。書文協は日本の良き伝統文化を保持・発展していくために毛筆にも今後ますます改革を加えていく方針です。

授業外活動重視にも有効な書写書道に

A0入試などで授業外活動の評価が高まる中で、新硬筆検定での段級取得は大事な自主活動になると確信いたします。

この「新硬筆検定の特色」をコピーして、広く所属生徒さんにお配りください。新硬筆検定実施要項、特別段級認定試験規則は、書文協ホームページ掲載の月間書字文化30年5月号・資料編に載っています。どうかよろしくお願い申し上げます。



新硬筆検定受験の特色

書文協は、日本語の継承・発展を目標に活動する非営利型一般社団法人です。本日は『硬筆課題検定(通称・新硬筆検定)』(120 課題)をご案内します。楷書・行書・草書という硬筆の全てを1本のコースで分かり易く濃密に速習できるよう工夫された検定です。教場の先生のご指導を受けて、受験の準備を始めてください。受験料は1 課題 500 円(税別)から。実施要項、特別段級認定試験規則(書文協ホームページの月間書字文化5月号資料編にも掲載)をご参照ください 特色は以下の通りです。

① 段級は 10 級⇒10 段 「評価の観点」で合否判定

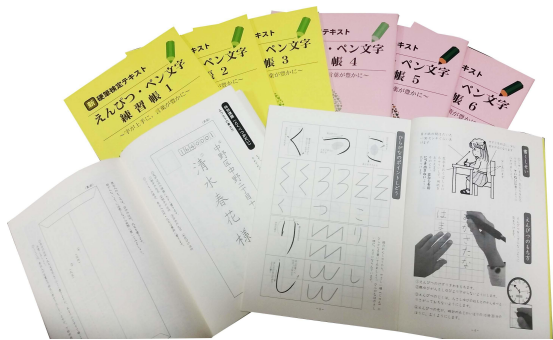
10 級から始めて 10 段まで進みます。検定試験の点数累計点で段級を決めるのではなく、身に付けて欲しい項目を「評価の観点」として 50 項目にまとめ、各課題で求められる評価の観点に合格しているかどうかで合否を決め、進むに依じて段級が付与されます。評価の観点は 1～48 番課題は 6 割、それ以上は 7 割出来ていれば合格です。1 回の受験課題数に制限はありません。テンポよく学習を進める中で、止め、はね、払いなど「評価の観点」

[illegible]

る中で、止め、はね、払いなど「評価の観点」を着実、完全に身に付けていただきます。

② テキストは 15 巻シリーズ(学年相当)+1 冊

各学年で身に付けて欲しい内容に照らし編集された学年相当のテキストです。1巻は小学1年生、7巻は中学1年生相当という具合です。書く技術だけでなく、課題など言葉の選び方、学び方も工夫されて15巻シリーズで各巻8課題計120課題です。これとは別に「はじめてのえんぴつれんしゅうちょう」(KADOKAWA、角川出版)があり、8級まで進めます。価格950円+消費税。園児らに好評です。



③ 中学 1 年相当の 7 巻から行書が始まり 13 巻からは草書も

学校の書写授業と同様に、中学生になったら行書を習い始めます。どんな文書が行書に合うか考えます。人への手紙など、行書に適した文書は日常生活のなかでたくさんあります。文部科学省から新しく公示される高校学習指導要領（平成 34 年本格導入）では、国語科に設置される必須教科と芸術家の書道Ⅰで、小・中学校書写との連携、硬筆への配慮が盛り込まれます。

こうしたことから、学校教育で硬筆書写がブームとなる気運で、新硬筆検定はこれに対応するも

のです。

さらに大学・一般相当の13巻からは草書を学びます。硬筆の楷書・行書・草書をまとめて学ぶ画期的なテキストと自負しています。



④ 受験作品の添削が返ってきます

新硬筆は他の検定と同様に実施月（年6回、偶数月）の20日までに書文協本部に送っていただき、次月15日ごろ結果発送を始めます。これまでの検定受験は、審査結果が知らされるだけですが、濃密・速習の新硬筆検定では、ワンポイント添削された受験作品に、合否付きの「評価の観点」表が張り付けて返されます。審査内容が詳しく知らされることは、本人の学びのプラスになるだけでなく、審査のブラックボックス化を避けるためにも有効で、書文協は大会でも事前に大会課題の「評価の観点」を公開しています。先生の指導に加えて、こうした措置で検定受験が書写書道の学びに直結します。

⑤ 新硬筆対応の指導者ライセンスが始まります 最終称号は「硬筆師範」



指導者ライセンス（資格）は、この人はここまでなら人に教える力があります、と書文協が保証するもので、検定コースごとにライセンス試験が設けられています。どのライセンスも数段階に分かれ、人に教えるだけの力量を求める分だけ検定より何割か難しくなっています。

『硬筆指導者ライセンス』は来年5月のライセンス試験から実施予定で、今年9月、要項発表の予定です。最終合格すると「硬筆師範」の称号を授与する方針です。「硬筆師範」のライセンスは地元での活躍に有効で、書文協講習会や添削での活躍も期待されます。

検定段級もライセンスも、自分のキャリアを豊かにするでしょう。また、授業外活動が重視されるこれからのAO入試、推薦入試に有効です。何よりも、きれいな硬筆は真に一生の宝。お手紙や志望理由書など、手書き文字が効果を発揮する場面は益々増えていくでしょう。

本番感覚で人気の席書大会に参加を

第7回全国書写書道総合大会のコンクールの一つ、学生書写書道展には、公募の部と席書の部があります。公募は応募作品を郵送で書文協におくるもの、席書は会場に集まってその場で、手本を見ずに一定の時間内に作品を仕上げて提出するものです。

◆席書大会参加費を値下げ

書文協では多くの人が席書に参加しやすくするため、団体参加費を安く抑えることにしました。また、予選は設けません。参加費だけで分散決勝地区大会に参加、全国レベルの腕試しができます。

年少～中学生（八ツ切） 8 6 4 円 高校・大学生（半切） 1, 0 8 0 円

（個人参加 一律 1, 6 2 0 円）

◆まず学生展席書会場申請用紙で書文協本部あて申し込みを

申し込み用紙は、ホームページにあります。フロントページの写真の下横タスクバーの右から2つめ「大会」にカーソルを当てると、項目欄が出ます。この中から「総合大会」をクリックすると実施要項、課題一覧、お手本などのコーナーが出ます。実施要項の最後に、各用紙のダウンロード項目があります。

◆席書大会開催期間

平成30年7月1日（土）～9月2日（日）

◆席書ルール

「書文協」の朱印を押した用紙に書いた作品のみ有効です。手本を見ずに書き、自分の判断で良い方を提出します。ここまでを25分で仕上げてもらいます。周囲からの声掛けは厳禁。詳しい用紙は会場申請用紙にあります。

◆9/22 全国の作品を一堂に集め審査

各地で開催された地区大会の全作品を東京に集めて、書写書道教育の権威者がそろって書文協中央審査委員会が審査します（9月22日土曜日、東京・中野）。希望すれば教場の全員が参加できるよう、また参加費だけで済むように地区大会の予選は設けません。地区大会開催責任者は専門審査委員として審査会に参加することができます。

